



部門長挨拶



第95期部門長 小俣透 (東工大)

この度、第95期部門長を拝命いたしました。重責ではありますが、村上弘記副部門長((株)IHI)、菅野貴皓幹事(東京医科歯科大学)をはじめ、企画、運営両委員会の皆様のご協力を仰ぎながら、部門の更なる発展に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ロボティクス・メカトロニクスに対する社会の期待が高まっています。昨年6月には「未来社会を創造するロボティクス・メカトロニクス」というテーマでロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2016を開催しました。特別講演では、黒岩祐治神奈川県知事から未病という高齢化社会を見据えた県の取り組みを紹介していただきました。高齢化社会を受動的に迎えるのではなく、能動的に創造しようとする姿勢が伝わる講演でした。それとともに、ロボティクス・メカトロニクスへの期待が伝わる講演でした。

ロボティクス・メカトロニクス講演会では最近では1200件以上という大変多くの講演件数があり、災害救助、原発対応、インフラ点検、海洋、宇宙、農業、医療、福祉、バイオ等の幅広い分野での発表があります。これはロボティクス・メカトロニクスがあらゆる分野に係る技術であることの証です。本部門がこのような技術に携わり先導する立場であることは幸運なことです。今後の日本は少子高齢化、財政状況の悪化など決して明るい見通しではありませんが、本部門の創造的な研究開発活動により、ロボティクス・メカトロニクスが未来社会を良い方向に変え創造できることを示していきましょう。一方、社会ではロボットが雇用を奪うのではないかと危惧されています。学会として、雇用を奪うのではなく、新産業を創出することで雇用は創出されることも示していく必要があります。

さて、ROBOMECH2017は福島県で開催されます。原発廃炉では大変期待されています。また福島県は新産業としてロボット産業を期待しています。このほか2017年度には部門主催学術講演会として、第27回インテリジェント・システム・シンポジウム(FAN2017)、第23回ロボティクスシンポジウム(幹事学会)が開催されますので、これらの学術講演会を成功させるために皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。また部門英文誌 ROBOMECH Journalにはオープンアクセスというメリットがありますので、より一層の投稿をよろしくお願いいたします。

ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 in Fukushima (ROBOMECH2017 in Fukushima) 開催案内

開催日 2017年5月10日(水)～13日(土)
会場 ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
HP <http://robomech.org/2017/>

実行委員長 高橋隆行(福島大)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2017 in Fukushimaは、2017年5月10日～13日にビッグパレットふくしま(JR郡山駅からバス約15分)にて開催します。5月10日はワークショップ、チュートリアル、特別企画等を予定しています。5月11日と12日は、ポスター展示と企業展示を広めの会場で行う予定です。5月13日は市民向けな

らびに福島ならではの企画を計画しています。今回のテーマは「再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス」です。東日本大震災ならびに東京電力福島第一原子力発電所事故から6年余りが経過しましたが、その復興とさらなる飛躍を感じていただける大会にしたいと考えております。

LIFE 2016 開催報告

実行委員長 平田泰久(東北大)

LIFE(旧:生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会)とは、人の生命・生活を維持・向上させるための生命関連分野、リハビリテーション・生活支援分野、生体計測・制御分野等における技術研究開発、利用技術に関する講演・発表をもって社会貢献することを目指し、日本機械学会、日本生活支援工学学会、ライフサポート学会の3学会が合同で開催している学術講演会です。各学会が年毎に持ち回りで幹事を行っておりますが、LIFE2016では日本機械学会が幹事学会、ロボティクス・メカトロニクス部門が担当部門となって、各学会・部門と協力・連携しながら大会開催にあたりました。

本大会は2016年9月4日(日)～6日(火)の日程で開催され、4件のスペシャルセッション、20件のオーガナイズドセッションおよび学生会企画セッション、9件の一般セッションにおいて前年の2倍近い300件を超える講演が行われました。参加者も500名を超え、非常に活発な意見交換がなされました。大会2日目には、東北大学医工学研究科研究科長である出江紳一教授より「運動企図と末梢神経磁気刺激によるニューロモデュレーション」と題して特別講演を賜り、その後、産業技術総合研究所の大川弥生氏と比留川博久氏をオーガナイザとしたシンポジウム「ロボット介護機器開発・導入促進事業:人に役立つロボット開発の課題と解決策」が開催されました。特別講演・シンポジウムともに大講義室が満員となるほどの多くの聴衆を集め、活発な意見交換の場となっております。

また、LIFEとしては初となる学会一時託児を開設しました。特に工学系においてはまだまだ一般的とはいえない学会一時保育であります。男女を問わず育児期の研究者が、保育が欠けることを理由に出張を伴う学会・シンポジウムへの参加を断念することがないよう、このような取り組みは継続すべきであると考えます。

次のLIFE2017は、ライフサポート学会が幹事学会となり、2017年9月15日(金)～17日(日)の日程でお茶の水女子大学で開催予定です。



特別講演・シンポジウムの様子

第95期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 小俣透 (東工大)
副部門長 村上弘記 ((株)IHI) 幹事 菅野貴皓 (東京医科歯科大)
編集: 第94期ロボメカ部門 広報委員会
委員長 程島竜一 (埼玉大) 副委員長 小川原光一 (和歌山大)
委員 辻田哲平 (防衛大) 幹事 山脇輔 (防衛大)

部門HP: <http://www.jsme.or.jp/rmd/>
広報委員会E-mail: rmd@jsme.or.jp